

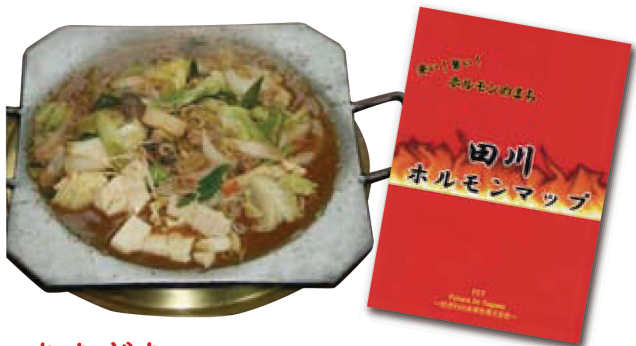
銘菓 グルメ

銘菓「黒ダイヤ・白ダイヤ」

日本の近代化産業を支えるエネルギーとして「黒いダイヤ」と呼ばれた石炭を模して生まれたのが「黒ダイヤ」という名の羊羹。全国各地から集まっていた炭鉱関係者の土産として人気を博しました。セメントの原料である石灰岩を模した「白ダイヤ」とともに懐かしい故郷の味として田川を知る人々に今も親しまれています。

田川ホルモン鍋

石炭のまち「炭都」だった田川の炭鉱全盛期、安くて、美味しく、栄養満点で、疲労回復に効果があるということから、炭鉱で過酷な労働に従事していた炭鉱労働者たちにごよなく愛されていたホルモン鍋。コラーゲンたっぷりのぶるぶるのホルモンとたくさんの野菜が味わえるヘルシー&スタミナ料理は、今では女性に大人気！半世紀を越える歴史を誇る、炭都「田川」のソウルフードです。【田川のホルモンの普及促進を図る「田川ホルモン喰楽歩」も精力的に活動中！】



あをぎり

初代田川市長を務めた林田春次郎の旧邸宅を利用した割烹。江戸末期から明治にかけて建てられた邸宅と昭和9年建築の迎賓館から成ります。時代の雰囲気にもまれながら鯨料理などが楽しめます。



問い合わせ先: 0947-42-1251

アクセス



お車の場合

福岡I.C	29km	車で約30分	田川市	25km	車で約40分	小倉南I.C
福岡市	37km	車で約40分	田川市	35km	車で約50分	北九州市
直方市	18km	車で約30分	田川市	23km	車で約35分	行橋市
飯塚市	15km	車で約25分	田川市			

JRの場合

博多駅~(JR篠栗線・後藤寺線)~田川後藤寺駅	約70分
小倉駅~(JR日田彦山線)~田川伊田駅	約60分
行橋駅~(平成筑豊鉄道)~田川伊田駅	約40分
直方駅~(平成筑豊鉄道)~田川伊田駅	約30分

バスの場合

西鉄天神バスセンター~後藤寺バスセンター	約70分
西鉄天神バスセンター~伊田駅	約80分
福岡空港~後藤寺バスセンター	約90分
小倉駅バスセンター~後藤寺バスセンター	約90分

タクシー会社

田川橋内自動車: 伊田(営)0947-44-2311 / 後藤寺(営)0947-44-4111
つばめタクシー: 伊田(営)0947-45-0022 / 後藤寺(営)0947-45-0044
鑽西交通: 0947-42-4113 平和タクシー: 0947-42-3355
ドリームタクシー: 0947-44-1515

問い合わせ先

田川市建設経済部 商工労政課
〒825-8501 福岡県田川市中央町1番1号
TEL: 0947-44-2000
FAX: 0947-46-0124

ホームページ: <http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp>

~炭坑節発祥の地~

田川市

TAGAWA CITY

田川市まるごと観光ガイドマップ



GUIDE MAP

田川のまつり FESTIVAL in TAGAWA

川渡り神幸祭

5月の第3日曜日とその前日の土曜日に開催される風治八幡宮の川渡り神幸祭は、福岡県五大祭りの一つにあげられ、県の無形民俗文化財に指定されています。みこしと山笠が彦山川を練り回り、色とりどりのパレン(穂先を模した飾り)を揺らし、彦山川を渡る様は勇壮で豪華を極め、筑豊に初夏を告げる祭りとして、毎年数万人の観衆の心をとらえています。永禄年間に疫病が流行した時、村人たちが願掛けをしたお礼として奉納されたのが起源と伝えられています。



岩戸神楽

約400年前から伝承されてきたもので、江戸時代の神楽の型がよく残されています。県の無形民俗文化財に指定されており、毎年、5月の第4日曜日とその前日の土曜日に開催される春日神社の神幸祭と8月の夏越祭、10月の神待祭に奉納されています。



伊加利人形芝居

伊加利地区に保存伝承された人形芝居で、稀有な郷土芸能として、県無形民俗文化財に指定されています。

TAGAWA

コールマイン・フェスティバル



「月がでた、でた、月がでた」で知られる「炭坑節」。その「炭坑節」の発祥地である田川市の歴史と文化を全国に発信する、秋最大の市民まつり「TAGAWAコールマイン・フェスティバル~炭坑節まつり~」。

「炭坑節」をキーワードに、気軽に楽しく誰でも参加できるまつりで、最終日の炭坑節総踊りは圧巻です。毎年、11月の第1日曜日とその前日の土曜日に開催されます。



「炭坑節」のシンボルキャラクターも活躍中!

炭都田川物語

青春の門 筑豊田川

香春岳は異様な山である。決して高い山ではないが、そのあたえる印象が異様なのだ。

作家 五木寛之

筑豊を知るには、まずこれを読めとまでいわれる「青春の門」。作家・五木寛之氏のライフワークとも言える大長編小説で、第10回(昭和51年)「吉川栄治文学賞」を受賞しています。【筑豊編】【自立編】【放浪編】【墮落編】【望郷編】【再起編】と続く大河のような作品は筑豊のシンボル、香春岳の描写から始まります。

北から南へなだらかに続く福智山系は田川市の東北にそびえる香春岳で終わる。南から一の岳、二の岳、三の岳と、三つの峰からなるこの山は一の岳が採掘によりざっくりと削られ、白い地肌をさらしています。

主人公・伊吹信介が幼少時代を過ごした田川のまち、そして繰り返し繰り返し、しつようなまでに描写される香春岳、伊吹信介は五木氏自身ではないが、まぎれもなく筑豊は五木氏にとっての原風景といえます。



炭坑の記録画 (県指定有形民俗文化財)

山本作兵衛(1892~1984)

故山本作兵衛の手によって描かれた炭坑記録画は、絵画の余白に解説文を書き連ねるといふ、独特の技法で制作されています。炭坑の労働や生活など、筑豊炭田のあらゆる場面が描かれており、日本の近代化を支えた人々の姿を伝える貴重な記録として、国内外で高い評価を得ています。



田川歳事記

1月 伊加利人形芝居	3月 丸山公園花まつり	5月 川渡り神幸祭	岩戸神楽	11月 コールマイン・フェスティバル
---------------	----------------	--------------	------	-----------------------

1 石炭記念公園、石炭・歴史博物館

石炭記念公園
田川伊田駅の真にある炭坑跡地一帯を公園とし、田川にある石炭文化や炭坑遺産を公園に残そうとして建設されたものです。

石炭・歴史博物館
約15,000点の資料を収蔵し、炭鉱の歴史や、炭鉱から生まれた文化などを分かりやすく展示しています。

伊田竪坑櫓、二本煙突
文化創造都市 田川を象徴する炭坑遺産。伊田竪坑櫓：高さ28.4m。煙突：高さ45.45m使用レンガ枚数213,000枚。ともに平成19年度国登録文化財。



問い合わせ先：0947-44-5745

2 田川市美術館

「筑豊からの発信」をテーマに、筑豊地区初の公立美術館として設立。ふるさとの美術を広く紹介するとともに、様々な企画展の開催や市民の発表の場としても利用されています。



問い合わせ先：0947-42-6161

3 中村美術館

旧三井鉱山セメント跡地に市民憩いの場として開設した複合文化施設「池のおく園」。その中心施設として平成20年4月に開館。近代日本画・洋画をはじめ、陶磁器、彫刻、ガラス工芸、硯などの収蔵品が常設展示されており、また、「池のおく園」内ではフランス料理、四季会席等も味わえます。



問い合わせ先：0947-42-1018

4 現代美術ギャラリー to.ko.po.la

「平成17年にオープンした現代美術の作品展時ギャラリー。神崎とも氏の作陶アトリエでもあり、レンタルスペースとしての機能も持っています。これまでに多くの企画展及び常設展を開催。田川、そして福岡にゆかりのあるアーティストが中心です。



問い合わせ先：0947-45-1152

5 成道寺公園

広いグラウンドと閑静な自然の趣を持った公園で、市民の憩いの場として親しまれています。5月初旬には、全園がツツジにつつまれます。



6 丸山公園

園内には、約1,000本の桜の木があり、桜の名所として有名な丸山公園。毎年3月下旬から4月中旬ごろまで、「花まつり」が開催され、多くの人でにぎわいます。



7 総合グラウンド

ウォーキングロード、運動公園等を備えた総合公園です。公園内には、大型のスベリ台やロープでできたジャングルジム等の遊具もあります。



問い合わせ先：0947-44-7370

8 松原温泉

「香春岳を眺める高台に建つ。男女別の大浴場と露天風呂、軟水を利用した蒸し風呂、女性専用の岩盤温熱浴がある。湯は疲労回復や神経痛に効果があるアルカリ性冷鉱泉。



問い合わせ先：0947-42-1168

9 伊田商店街

田川伊田駅前を起点とする商店街。田川銘菓「黒ダイヤ」を販売している店があるほか、市民憩いの場である「さのよい公園」や「さのよい食堂」「さのよい市場」がある。



問い合わせ先：0947-44-6161

10 後藤寺商店街

田川後藤寺駅と後藤寺バスセンターを結ぶ通りにある商店街。春の「後藤寺ひなめぐり」、夏の「納涼夜市」といった季節のイベントのほか、毎月20日には「二十日市」、偶数月の15日には「サンQ市」も開催されている。



問い合わせ先：0947-42-0735

TAGAWA CITY GUIDE MAP

